

皆さまの、ご支援と励ましのなかで執筆をつづけてまいりました、新版『森と魚と激戦地』が発行となりました。三省堂書店からです。

はじめて明かされる太平洋の島々の受難と抵抗。  
歴史の闇に埋もれさせてはならない出来事の数々を綴りました。太平洋の島々の知られざる小さな物語。

私たち日本がどのようにその島々と関わり（侵略と戦後の森と魚の収奪によって）、その暮らしを変貌させてきたか。長年の聞きとりと調査を交えて綴ってきました。

本書は太平洋との関わりを通して、現在と未来への私たちへの貴重なメッセージを含み、多くの方に読んでいただきたいと心から願っております。

なおWEB上では、下記のちらしのPDFをクリックすると、ちらしの全体を見ることができます。



新版

## 森と魚と激戦地

はじめて明かされる太平洋の住民たちの受難と抵抗 清水靖子

雨の島の小さな民の物語—  
一ページの向こうに筆者と  
人々の笑顔が浮かんでくる  
のが、この本の魅力。

内海聖子  
慶応義塾大学  
名誉教授



雨の島の穏やかな生活が、  
この日本という国によって  
どのように破壊されたかを  
知る好著です。

小出裕章  
先端科学大学院大学  
名誉教授



かつて日本の戦いの激戦地だった太平洋。その海  
と島々は今、環境破壊の激戦地となっていた。  
踏み込まれた住民の受難と抵抗。歴史の闇に埋も  
れさせてはならない出来事の数々を綴った。

- ◎太古の森と海に暮らす人々
- ◎ラバウル恐怖の軍政と「日本皇軍慰安所」
- ◎ティンブク村民虐殺事件
- ◎ガダルカナル島知事
- ◎日本軍占領下のトンガやペラペラ島では
- ◎海軍による捕虜への生体実験（トラック捕虜）
- ◎民間人を集団処刑した秋風事件
- ◎パラライ島で英軍捕虜と住民を集団虐殺
- ◎吉敷軍、今ブルドーザー——日系三大採金企業
- ◎森が太平洋のツグロを消してきたのか
- ◎私たちのコロナツ・ワイヤレス（ほか〈詳細は裏面の目次参照〉）

『新版 森と魚と激戦地』

清水靖子著、三省堂書店／創英社発行  
四六版 カラー口絵・地図・写真入り402ページ  
定価：2970円（本体2700円＋税10%）

本書の紹介サイト——パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会：<http://www.pngforest.com/>  
三省堂書店 出版物のご案内：[https://www.books-sanseido.co.jp/soeisha\\_books](https://www.books-sanseido.co.jp/soeisha_books)  
（印刷）

なお、ご拝読くださいますと、可能であれば、日頃のネットワーク他、書評、  
広報を通して、本書を紹介していただけたら、このうえなく幸せです。ご検  
討たまわりますようお願い申し上げます。

ちらしに詳細が記されていますが、書店には6月19日頃並ぶ予定です。アマゾンなど  
では今も注文できる状態です。

不明な点、質問などについては、下記に住所、電話、メールアドレスを記しましたので、  
いつでもご連絡くださいませ。深い感謝とお祈りのうちに。

166-0003 東京都杉並区高円寺南 5-11-35 メルセス会修道院 清水靖子  
電話 080-1218-2202 メールアドレス yasukospring@nifty.co